

各署の職員がふれあいセンター業務を体験

8月22日(金)に、オホーツク管内の各森林管理署等から16名の職員が、「オホーツクの森」に集合し、常呂川森林ふれあい推進センターが実施している様々な取組みの理解を深めながら、職員相互のスキルアップを図ることを目的に、今年度も「フィールドの見学・意見交換会」を行いました。

今回参集した職員は若い方が多く、また、森林事務所所属だけでなく、森林管理署の総務関係の方からも参加しました。

午前中は今回、自然再生事業について紹介しました。平成14年に自然再生推進法制定に伴い、「オホーツクの森」において行っている人工林から一昔前の針広混交林へ誘導する様々な取組みを現地を交えて、見てもらいました。



(ボランティアによる樹種転換を行っている箇所視察)



(森林づくり塾で作業した箇所視察)

午後からは、森林ふれあい関係について体験してもらいました。

4つの班に分かれて「古の森」内で、ネイチャーゲームのフィールドビンゴ及び林道沿いにある草花の同定を体験してもらいました。なお、フィールドビンゴについては、一般市民対象のものより、探す内容を厳しめにして行いました。

今回、遠方から集まる関係もあり、短い時間の中でありましたが、普段行っている林業的アプローチだけでなく新たな目を養う良い機会になったと考えます。

今後も、常呂川森林ふれあい推進センターでは様々な団体等の要望に応えるよう、創意工夫して対応していきたいと考えておりますので、森林ボランティア活動だけでなく、森林のフィールドを活用した学習など、遠慮なくご相談願います。



(草花の同定の様子)